

2022年5月11日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社中京銀行による自己株式の公開買付けへの応募予定について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、当行の持分法適用関連会社である株式会社中京銀行（取締役頭取 小林 秀夫、以下 中京銀行）が実施する自己株式の公開買付け（以下 本公開買付け）に、当行が保有する中京銀行株式の全部に応募する旨を定めた自社株公開買付応募契約書（以下 応募契約書）を中京銀行と締結しましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、本公開買付けが成立した後、中京銀行は当行の持分法適用関連会社に該当しないこととなります。

1. 本公開買付けへの応募の理由

中京銀行は、本日、株式会社愛知銀行（取締役頭取 伊藤 行記、以下 愛知銀行といい、中京銀行と愛知銀行を総称して、両行）との間で、両行の株主総会の承認及び関係当局の許認可等が得られること等を前提として、共同株式移転の方式により2022年10月3日をもって両行の完全親会社となる株式会社あいちフィナンシャルグループ（以下 共同持株会社）を設立すること（以下 本株式移転）、並びに共同持株会社の概要及び本株式移転の条件等について、経営統合契約書を締結するとともに、株式移転計画書を作成いたしました。

加えて、中京銀行が、愛知銀行との間の経営統合（以下 本経営統合）の一環として、本公開買付けを実施し、当行が保有する中京銀行株式の全部を本公開買付けに応募する旨を定めた応募契約書を、中京銀行と当行との間で締結いたしました。

中京銀行は、本経営統合により、愛知銀行と共に、東海エリアを代表する地域金融グループとして、地域経済の発展と地域金融の安定化に貢献し、更なる企業価値向上を目指していくこととなります。

一方、当行は、現中期経営計画の主要戦略として、事業ポートフォリオ見直しを推進しており、各社への戦略出資に関しては、戦略性・資本効率・出資採算等の観点から見直しを行っております。

このような状況をふまえ、当行は、本公開買付けへの応募に関し、慎重に検討を重ねた結果、売却により得られる資本を、当行資本政策の基本方針に沿って活用することが、MUFGの株主価値向上に資すると判断いたしました。

中京銀行は、本公開買付けが成立し、資本関係が解消されたとしても、当行のマザーマーケットの一つである中京圏の重要な提携パートナーであり、当行は、本経営統合後も、中京銀行、愛知銀行及び共同持株会社と良好な協業関係を維持し、ビジネス上の連携や協働等を行っていく予定です。

今後、両行は、両行の株主総会の承認及び関係当局の許認可等が得られることを前提として、2022年10月3日をもって本株式移転により共同持株会社を設立予定であり、当行は、両行の本経営統合に向けた取組みに協力してまいります。

2. 本公開買付けへの応募の概要

当行が保有する中京銀行の普通株式について、以下のとおり本公開買付けに応募予定です。

応募予定株式数	8,534,385 株
買付価格	1 株につき 1,195 円
売却予定総額	10,198,590,075 円

3. 本公開買付けへの応募前後の所有株式の状況

本公開買付け前の所有株式数 8,534,385 株（発行済株式総数に対する割合 38.89%^[1]）

本公開買付けへの応募予定株式数 8,534,385 株（発行済株式総数に対する割合 38.89%^[1]）

本公開買付け後の所有株式数 0 株（発行済株式総数に対する割合 0.00%）

[1] 中京銀行の発行済株式数（21,780,058 株）から自己株式数（5,150 株）を控除し、ストックオプションの目的となる普通株式数（168,900 株）を加えた株式数（21,943,808 株）に対する割合

4. 本公開買付け等の日程（予定）

公開買付期間	2022年7月1日から2022年8月1日までの21営業日
決済開始日	2022年8月下旬から2022年9月30日まで

5. 業績への影響

本公開買付けへの応募が MUFG の当期の業績に与える影響は軽微です。

以上